

事業名

行政事業レビューシートの「事業名」と統一

レビュー番号

第二次提出時記載

担当部局・課室

課室名まで記入

現状分析

事業実施の前提となる現状（背景事情）をエビデンス（統計等データや研究成果）により示す。

- ・ 現状分析結果の要旨やエビデンスの名称・出典を記入すること。
- ・ 法令等に基づき事業を実施する場合であっても、当該法令等の規定内容を記入するだけでは十分ではなく、可能な限り定量的な現状分析を示すこと。

課題

現状分析を踏まえ、解決すべき課題と設定根拠をエビデンス（統計等データや研究成果）とともに示す。

- ・ 課題の要旨やエビデンスの名称・出典を記入すること。
- ・ 課題が解決された状態を測るものが長期アウトカムであるため、課題と長期アウトカムは原則として対応する。

事業概要

【☐新規 ☐既存 ☐モデル ☐大幅見直し】

- ・ 上記、事業区分に✓を入れること（複数✓可）
- ・ 事業について概要のみ記入し、個別事業はアクティビティに記入すること。
- ・ 大幅見直し事業の場合、見直し内容が分かるように記入すること。

※行政事業レビューシートの「事業概要」に該当

【インプット】

【アクティビティ】

【アウトプット】

【短期アウトカム】

【長期アウトカム】

【インパクト】

※事業概要と対応する事業実施内容

原則令和5年度の目標値を記入
※行政事業レビューシートの「活動目標及び活動実績（アウトプット）」に該当

短期的な成果を記入。アウトプットの直接的な成果と令和5年度の目標値を記入
※行政事業レビューシートの「成果目標及び成果実績（アウトカム）」を参考に記入

アウトカムのうち長期的な成果を記入。
※行政事業レビューシート「成果目標及び成果実績（アウトカム）」を参考に記入

令和5年度概算要求額を記入
(単位：百万円)

新規事業は要求額を記入

既存事業は要求額とともに令和4年度予算額と執行額（又は執行見込額）を記入

※行政事業レビューシートの「予算額・執行額」の該当年度に該当

①〇〇に関し、アウトリーチでの相談実施

① アウトリーチ件数
令和5年度：〇〇件

② 相談件数
令和5年度：〇〇件

②就労支援計画の策定

③ 就労支援計画の策定件数
令和5年度：〇〇件

③ハローワークでの求人開拓

⑤ 求人開拓企図数
令和5年度：〇〇件

⑥ 求人開拓数
令和5年度：〇〇件

① 相談利用者の就労意欲の増加
令和5年度：××
② 就職先に関する希望の明確化
令和5年度：××

③ 就労支援計画に基づく就労支援者の増加
令和5年度：××
④ 就労支援計画を伴った求人への申込増加
令和5年度：××

⑤ 求職者が希望する就職先の拡大
令和5年度：××%（前年度比）
⑥ 求人側と求職側のミスマッチの解消
令和5年度：××

① 相談利用者の就職率の上昇
令和〇年度：××%上昇（前年度比）

② 就労支援者及びハローワーク利用者の就職率の上昇
令和〇年度：××%上昇（前年度比）

③ 就労支援者及びハローワーク利用者の就職後の離職率の低下
令和〇年度：××%低下（前年度比）

【長期アウトカムに関連する事業】

長期アウトカムに寄与する関連事業がある場合に記入する
関連事業がない場合は枠ごと削除

事業の最終的な目標（現状・課題の解決に繋がる目指すべき社会的影響）

※行政事業レビューシートの「政策評価、新経済・財政再生計画との関係」欄のうち、「政策評価」の「施策」欄（政策評価の施策目標）を参考に記入

対応

ロジックの確認 ①

【論理展開の妥当性の確認】

インプット⇒アクティビティ⇒アウトプット⇒短期アウトカム⇒長期アウトカム⇒インパクトの論理展開が妥当か以下の確認項目に従ってチェックすること。

✓	確認項目	留意点
☑	短期アウトカムが改善すれば、長期アウトカムが改善すると考えられるか（課題解決に必要な要素が網羅されているか）。	改善すると考えられない場合は、長期アウトカムから遡って考えた因果関係に基づき、短期アウトカムを必要に応じて修正した上で、再度確認してください。
☑	アウトプットが改善すれば、短期アウトカムが改善すると考えられるか（課題解決に必要な要素が網羅されているか）。	改善すると考えられない場合は、短期アウトカムから遡って考えた因果関係に基づき、アウトプットを必要に応じて修正した上で、再度確認してください。
☑	長期アウトカムから遡って考えたときに、アクティビティがアウトカムの改善に寄与するものになっているか（ボトルネックを解決する事業になっているか）。	寄与するものになっていない場合は、長期アウトカムから遡って考えた因果関係に基づき、アクティビティを必要に応じて修正した上で、再度確認してください。
☑	関連事業も含めて考えたときに、課題解決に寄与する事業となっているか。	他事業も含めて、課題解決に寄与する事業となっているかを確認してください。

ロジックの確認 ②

【課題解決の手段としての当該事業（アクティビティ）の妥当性】

・アクティビティの内容が妥当かをエビデンスに基づき記入する。

✓ エビデンスとして、他分野の既存の類似事業の実績・効果、モデル事業の実施結果等を記入する。

✓ 例えば、研修の開催の場合、その開催自体のみならず、対象や開催地の選定の妥当性を記入する。

効果検証方法

1 効果検証に当たっての項目整理

P：事業の対象	I：事業内容	C：比較対象	O：アウトカム
求職者	就労支援計画の策定	本事業の未実施地域における求職者	就職率

1 P I C Oの枠組みに沿って、どういったアウトカムについて、どのような比較対象を用いて効果検証するかを記入する。

※事業を実施する介入群と、事業を実施しない非介入群（対照群）の設定を含む。

2 効果検証に用いるデータや分析手法が明らかな場合は記入する。

また、上記1の効果検証が困難な場合は、代替手段や阻害要因を解決するための手段等を記入する。

2 効果検証の分析手法等

本事業の実施・未実施地域における求職者の就職率について、〇〇調査の結果を使用して、差の差分分析を実施

EBPM取組体制

（課室長クラスの方も含めること）

※別途案内するEBPM実践担当者研修（必須研修）の対象者に該当

役職

氏名

内線

課長

厚生 太郎

1111

課長補佐

労働 花子

1112

係長

霞ヶ関 一郎

1113

係員

日比谷 二郎

1114

指標名		目標値（水準）の設定理由	目標達成時期の設定理由	設定した指標を算出する調査名等
アウトプット①	〇〇件数	<div>アウトプットの目標水準が短期アウトカムを達成する水準であるとする理由を記載する。</div> <div>※目標値を実績値から算出する場合は、算出方法も記載</div>	<div>アウトプットの目標年度は原則として、令和5年度にする。</div> <div>目標年度を令和6年度以降に設定する場合のみ、本欄を記入する。</div>	<div>【既存調査の結果から指標を算出する場合】</div> <div>①調査名</div> <div>②調査周期</div> <div>③（今後の）直近の調査の結果確定時期（目途）</div> <div>【新規調査や新たな制度による報告結果から指標を算出する場合】</div> <div>①種類（区分） （例えば、「新規調査」「新制度による報告」等）</div> <div>②概要 概要が未定の場合は予定時期。 例えば、「令和〇年度に新たに〇〇調査（報告）を実施予定」など）</div>
アウトプット②	〇〇件数			
アウトプット③	〇〇件数			
アウトプット④	〇〇件数			
アウトプット⑤	〇〇件数			
アウトプット⑥	〇〇件数			
短期アウトカム①	〇〇の割合	<div>短期アウトカムの目標水準が長期アウトカムを達成する水準であるとする理由を記載する。</div> <div>※目標値を実績値から算出する場合は、算出方法も記載</div>	<div>短期アウトカムは、アクティビティ及びアウトプットから直結するものであるため、目標年度は原則として、令和5年度にする。</div> <div>目標年度を令和6年度以降に設定する場合のみ、本欄を記入する。</div>	
短期アウトカム②	〇〇			
短期アウトカム③	〇〇の割合			
短期アウトカム④	〇〇			
短期アウトカム⑤	〇〇の割合			
短期アウトカム⑥	〇〇			
長期アウトカム①	〇〇の割合	<div>長期アウトカムの目標水準がインパクトを達成する水準であるとする理由を記載する。</div> <div>※目標値を実績値から算出する場合は、算出方法も記載</div>	<div>長期アウトカムは、当該事業に関連する法令、計画等の中間評価年度、最終評価年度、見直し年度等を参考に設定する。</div>	
長期アウトカム②	〇〇			
長期アウトカム③	〇〇			